

ふいさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



紅葉のひろら拾ふ女人かな

旭町 宝澤 房子

どか雪にならばよごとひつり言

西町 岸波 君江

叢むらしぐれ物の怪若しやもしやかな

仲町 玉野 研一

キツシユレス今だわからず冬浅し

西町 杉浦 とし枝

軒下の大根干す人手際よし

西町 金澤 頼子

風うけて鳥の群待つ木の実かな

藤本町 鈴木 ゆき子

菊の日や力合わせた茶会かな

元町 印牧 安子

雨垂れの落ちしバケツの薄氷

西岡町 高瀬 久美子

燃え落ちる沖縄首里城惜しむ秋

南桜町 宮腰 幸子

恙なき日日の安らぎ鳥渡る

仲町 坂部 和子

おのずから献立決まる葱太し

東町 高橋 世津子

ふる里の使者の如くや牡丹雪

西岡町 渋谷 みさ子

道すから菊一輪に歩をとめ

元町 西崎 弘子

菊の香の映る指先夕日落つ

西町 文梨 清子

体操の輪のひろがりや冬つらら

緑町 池田 良子

母の顔三日振りなり紅葉散る

仲町 梅基 文子

冬帽はメイドインロシア父遺す

仲町 芳賀 星子

雅子様の光るティアラに秋陽よし

西原町 児玉 久美子

花鉢の洗い終りて冬浅し

旭町 大河 博子